

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0501010

政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6 保健・医療の充実	事業優先度	B	
単位施策	3 母子保健の充実	政策事務分類	4 法定自治事務	
事業名	予防接種事業	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	5 保健福祉課	
事業主体	雄武町	関係課	14 国保病院	
事業指標	定期予防接種平均実施率		#N/A	
事業目標	平均実施率80%	ハード/ソフト事業区分	2 ソフト事業	
住民参加 住民協働	1 事業実施方法に関するアンケートによる意見の聴取	関係例規・法令名	2 予防接種法	
		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成20年度 事業内容	平成21年度 事業内容	平成22年度 事業内容	平成23年度 事業内容	平成24年度 事業内容	
計 画 内 容	三種混合予防接種等予防接種法に規定される定期予防接種の実施により、感染症の流行を防止し、住民の健康保持を図る。	三種混合他7種の定期予防接種の実施 (平成20年～24年までの5か年は麻しん予防接種対象者が中学1年・高校3年に相当する児童へ拡大される予定あり)	三種混合他7種の定期予防接種の実施	三種混合他7種の定期予防接種の実施 高齢者対象の肺炎球菌ワクチン接種にかかる公費負担助成 乳幼児対象のヒブワクチン接種にかかる公費負担助成	三種混合他7種(BCG・二種混合ポリオ・麻しん風しん混合・麻しん風しん・インフルエンザ)の定期予防接種の実施 高齢者対象の肺炎球菌ワクチン接種にかかる公費負担助成 乳幼児対象のヒブワクチン及び肺炎球菌ワクチン接種にかかる公費負担助成 子宮頸がん予防ワクチン接種にかかる公費負担助成	三種混合他7種(BCG・二種混合ポリオ・麻しん風しん混合・麻しん風しん・インフルエンザ)の定期予防接種の実施 高齢者対象の肺炎球菌ワクチン接種にかかる公費負担助成 乳幼児対象のヒブワクチン及び肺炎球菌ワクチン接種にかかる公費負担助成 子宮頸がん予防ワクチン接種にかかる公費負担助成	
計 画 事 業 費	事業費(千円)	38,055	4,012	4,030	8,033	13,400	
財 源 内 訳	国庫支出金	0					
	道支出金	4,162				3,141	
	地方債	0					
	その他	531				531	
	一般財源	33,362	4,012	4,030	8,033	10,259	
7,028							
実 績 事 業 費	事業費(千円)	33,180	3,886	5,207	6,173	10,377	
財 源 内 訳	国庫支出金	0					
	道支出金	4,523		282	526	2,326	
	地方債	0					
	その他	2,743	388	529	666	520	
	一般財源	25,914	3,498	4,396	4,981	7,531	
5,508							
関 連 事 項	(特定財源の詳細等) ワクチン接種緊急促進事業補助金 後期高齢広域連合補助金 国保保健事業負担金	【評価・実績】	(実施内容等) 三種混合他7種の定期予防接種の実施 被接種者数延1,027名 平均実施率 52.5%	(実施内容等) 三種混合他5種の定期予防接種の実施 被接種者数延 1,012名 平均実施率 85.6%	(実施内容等) 三種混合他5種の定期予防接種の実施 被接種者数延1,043名 平均実施率 83.7% ヒブ・肺炎球菌他任意予防接種の実施 被接種者数延634名 平均実施率 35.4%	(実施内容等) 三種混合他5種の定期予防接種の実施 被接種者数延1,003名 平均実施率 87.9% ヒブ・肺炎球菌他任意予防接種の実施 被接種者数延 596名 平均実施率 32.1%	(実施内容等) 三種混合他5種の定期予防接種の実施 被接種者数延 1,058名 平均実施率 86.0% ヒブ・肺炎球菌他任意予防接種の実施 被接種者数延 413名 平均実施率 44.2%
		※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 B-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/拡充	※前年度評価結果 A-継続/拡充	※前年度評価結果 A-継続/拡充	
	第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値	平均実施率80%	平均実施率80%	平均実施率80%	平均実施率80%	平均実施率80%
		年度達成率	97%	129%	77%	77%	88%
		全体達成率	10%	24%	40%	67%	87%
		事業進捗状況	☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆

事業名 予防接種事業	評価者 管理職 職氏名	保健福祉課長	山崎 佳之
	評価者 作成者 職氏名	保健係長	佐々木 希美枝

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	予防接種対象となる町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	定期予防接種実施率								
【抱える課題やニーズは】	個人及び地域における感染症の流行を防止する	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	予防接種により予防可能な感染症の発症を防止する	① 定期予防接種の平均実施率	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>平成24年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>80%</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>86%</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>107.5%</td> </tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	80%	実績値	86%	達成度	107.5%
目標年度	平成24年度										
目標値	80%										
実績値	86%										
達成度	107.5%										
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	個人及び地域での感染症の流行を防止し健康を保持できる	②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>#DIV/0!%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何をを行ったか)】	予防接種に関する広報	家庭訪問、乳幼児健診等の機会を通じて予防接種の必要性や受診方法等を周知した。									
	予防接種実施体制の整備	受診者が安全に予防接種を受けられること及び利便性を考慮して医療機関における個別接種を受けられるよう体制整備に留意した。									
	任意予防接種にかかる費用助成の実施	ヒブ・小児肺炎球菌・子宮頸がん予防ワクチン及び高齢者用肺炎球菌の4種の任意予防接種実施にかかる費用助成を実施した。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	定期予防接種の実施は市町村に実施義務がある。また、任意予防接種の中で感染症の大流行や、罹患した際の重症化の防止を図るため、一定の費用助成事業の実施は必要性が高いと考える。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input checked="" type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	目標値は達成し、大きな感染症の流行は見られず事業の有効性は達成されたものとする。本年度、不活化ポリオ・四種混合ワクチン接種の開始などの大きな法律改正が行われたが、委託医療機関の協力により円滑に移行することができた。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	達成
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成
	<input type="checkbox"/>	下回る

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	医療機関への委託により効率的に事業を実施することができた。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制
	<input type="checkbox"/>	人員削減
	<input checked="" type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減
	<input type="checkbox"/>	その他

(4)事務事業の公平性

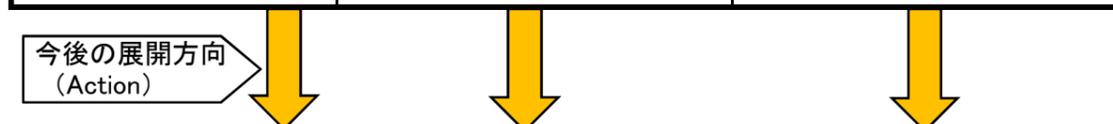
公平	判断の理由	一部予防接種においては受益者負担を求めている。乳幼児対象予防接種は経済的負担に関わらず公平に事業を利用できる体制が重要である。
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がある
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
目標を達成することができ、今後も感染症の流行防止に向けて事業を進めることが重要であると考えます。		



継続/現状維持		
今後も法律改正や新たな感染症の発生などに対して適切に対応し、地域における感染症の流行を防止するよう積極的に事業を実施する。		

※展開方向の区分
 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 ○終了 ○休止 ○廃止